

富士根南地区社協 小地域福祉ネットワーク 活動の歩み

富士根南地区社会福祉協議会
会 長 川原崎 仁

富士根南地区社会福祉協議会

○富士根南中学校学区を地区範囲とする。

（富士根南小学校区、東小学校区、富士見小学校区）

- ・設立は平成18年7月11日
- ・行政区は16区、人口24,162人、高齢化率20,2%、9,175世帯
自治会加入率75,7%、災害時要援護者登録397名
H25年6月現在

・基本目標 “人にやさしい福祉のまちづくり”

ふれあい

支えあい

学びあい

（相互理解）

（相互支援）

（相互学習）

- ・推進委員（区長、福祉委員、民生・児童委員、根南女連、青少年指導員、保護司、更生保護女性会、保健委員、交通安全協会、ボランティア、シニアクラブ、子供会など）

事業

I 各部事業

- 広報部:「根南福祉だより」年3回発行
- 福祉講座部:福祉講演会「小地域福祉ネットワーク活動」の啓発、226名参加
- 三世代交流:昔の遊び、健康チェック、疑似体験、小学校・中学校演技と演奏、662名参加
- 意識調査:福祉の啓発、地域の関心の高揚、次年度の課題把握の調査、推進委員164名に調査、回収率65%
- ふれあい訪問:82歳以上80・81歳一人住まいの方936名
- ラジオ体操:夏休み早朝ラジオ体操、1,383名参加(区長、町内会長、民生委員、子供会)
- ボランティア:福祉のまちづくりサポータ養成講座5回、22名受講
- 研修:講演会

II 支援事業

- 富士根南小1年生 昔のあそび 遊び名人80名参加
- 子育てサロン「根ねっ子サロン」14名スタッフ対応

小地域福祉ネットワーク活動

平成22年度 県・市の小地域福祉ネットワーク事業の指定を受ける。

小地域福祉ネットワーク活動とは・・・。

「住民同士が網の目のように連絡・連携しながら、福祉課題を抱える人を支えあっていく活動です。」

これまでの地域社会では、困った時には、家族や親戚、隣近所が助け合い支えあってきました。現在、家族の小規模化、雇用形態や価値観の変化など、様々な理由で社会の機能が弱まってきました。

地区社協・地域住民・福祉協力員などが、支援を必要としている本人の気持ちを大切にして、小地域にあった日常の「見守り・声かけ」などの支え合いの仕組みが求められています。この仕組み作りが「小地域福祉ネットワーク活動」です。これは、非常時の防災・防犯にも対応できます。

「富士根南地区 小地域福祉ネットワーク」手引き 改訂

根南地区社協プロジェクトチーム

①

- ・ 会長・副会長・企画正・副委員長
- ・ 代表理事・事務局・市社協地域福祉担当

プロジェクトチームの役割 ②

- ・ 具体的な進め方や支援計画の検討
- ・ 各区の実態把握の方法検討
- ・ 実態把握開始し集計・分析
- ・ 小地域ネット活動実施計画立案・検討
- ・ 市地域包括と市社協等専門機関と連携づくり
- ・ 理解を深める学習会座談会検討

ネットワーク委員会

プロジェクト（１６名）

福祉委員（１６名） ④

福祉推進組織

③⑤⑥

- ・ 区長・副区長
- ・ 町内会長
- ・ 民生・児童委員
- ・ 福祉委員（区福祉代表）
- ・ 経験者等

⑦⑨⑪

福祉推進組織の役割

- ・ 見守り対象者の調整
- ・ 対象者への説明（同意）
- ・ 緊急時・課題発見時の対応
- ・ 福祉協力員の募集・調整
- ・ 定期的会議の連絡調整

見守り対象者 ⑤⑥

一人暮らしの高齢者、高齢者世帯、障がい者世帯、病弱な高齢者を介護している人
幼い子のいる父子・母子世帯
日常気がかりな人

福祉協力員（見守り支援ボランティア）

○福祉協力員の募集

→対象者の居住地区の顔見知り

○福祉協力員の人数調整

→対象者１名に対し、人数調整

○見守り対象者の情報・活動周知

→対象者の状況・要望、個人情報保護法の順守、
緊急時の課題発見時対応確認、活動記録・報告

⑧⑨⑩

実践事例 (H23.2～)

- ①2月:67歳単身男性。訃報回覧で発見、普段から雨戸を閉ざし。近所との交流が少ない。新聞が一週間分溜まっていたが気づかれない。この事例から単身65歳以上を見守り対象に決め、地区社協総会で各区長に調整依頼。
- ②4月:72歳単身男性、祖父を訪ねた孫が発見。新聞が一週間分溜まっていたが気付かれない。この男性は、区長の再調整依頼から班長が調査し、民生委員と二週間前に面談し見守り対象者に登録したばかりであった。1年前妻と死別。(まさか、こんなに近くで孤独死が起こると思わなかった)

※新聞が溜まっても気づかない件で、新聞販売店にも「見守り活動」の協力が出来ないか、地区社協から市地域包括支援センターに提案した。

※専門職の地域包括、福祉企画、市社協、地域型と非専門職の根南地区社協が、福祉課題等を協議する連携会議(うらの会)が始まる。

- ③5月:91歳単身男性、室内に十数匹のねずみを飼育、本人は感染症を患う、訪問者も同様、ホームヘルプサービス利用中止。専門職(地域包括、ケアマネ、地域型支援)が駆除提案。鼠と蛇は友達、地域ケア会議で事例紹介、地区社協役員→(区福祉部、民生委員)で協議。顔見知り4名による訪問開始。**ご近所との絆が大事**、本人変化しねずみ33匹駆除。専門職が確認し、6月16日よりホームヘルプサービス再開。家族と疎遠。
- ④7月21日:富士宮市と新聞販売店5社「地域見守りあんしん事業協力に関する協定」締結。
- ⑤8月:認知症80歳男性行方不明発生(区長、包括、地域型、町内会長、班長、キャラバンメイト、家族)が協議。行方不明時顔写真付きのチラシ作成、包括・地域型・メイトが**散歩同行(約二時間)**し、男性の特徴周知。
- ⑥9月:新聞販売店5社の従業員教育終了。(みんなが安心して生活できる富士宮市をめざして)45名受講。

富士根南地区 小地域福祉ネットワーク活動

見守り対象者

- ・一人暮らしの高齢者(266人)
- ・高齢・障害者世帯
- ・病弱者・介護者
- ・日常気がかりと思われる人
- ・幼い子のいる父子・母子家庭



通常の見守り

- ・家族(基本)
- ・福祉協力員
- ・福祉委員
- ・民生・児童委員
- ・専門・公共機関等

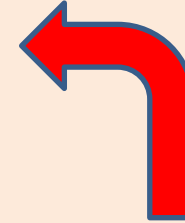
「公共機関・サービス等」

- ・市内新聞販売店
- 郵便・電気ガス。水道
- ・市事業配食サービス
- ・ホームセキュリティ
- ・ヤクルト
- ・おうちコープ
- ・(公社)富士宮市シルバー人材
- ・LPガス協会
- ・富士宮清掃、芝川清掃



異変を感じたら

- ①近隣住民
- ②民生・児童委員
- ③地域型支援センター(専門)
- ④市社会福祉協議会(専門)
- ⑤地域包括支援センター(専門)
- ⑥家庭児童相談室(専門)
- ⑦ケアマネジャー(担当)
- ⑧親族
- ⑨区福祉部



緊急性のある場合

- 夜間・土日などで緊急性の高い場合
- ・警察署(110番・23-0110)
 - ・消防署(119番)

「専門機関」

- ・地域型支援センターのぞみ
Tel 54-2233
- ・富士宮市社会福祉協議会
Tel 22-0054
- ・富士宮市地域包括支援センター
Tel 22-1591
- ・市家庭児童相談室
Tel 22-1230
- ・ケアマネジャー
(対象者の担当)

平成24年度 見守り活動進捗状況 調査結果

○9月・10月調査月間、見守り対象者および福祉協力員の調査実施。

1. 組織：16区の全区完了、組織構成者は区役員等が中心。
2. 見守り対象者の調査及び福祉協力員の依頼完了。
 - (1)対象者： 今年度 753名（昨年度632名）
 - (2)福祉協力員：今年度 795名（昨年度553名）

※高齢者の一人暮らし・高齢者世帯が60%を占める。
3. 活動を取組むに当たって新たな課題
 - (1)気がかりな人（引き籠り・虐待・生活支援）の情報が入りにくい。
 - (2)自治会脱会住民への対応。（高齢・生活困窮で班を抜きたい・・・。）
 - (3)福祉協力員を増員して、きめ細かい訪問と福祉協力員の負担軽減を図りたいが、ニーズへの対応も限界がある。
 - (4)見守りを生活支援の対象者に見られると遠慮する人もいる。

「杉田5区 福祉の会」 小地域見守り ネットワーク活動

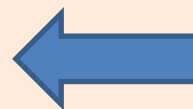


- ・毎月第4土曜日
- ・公民館に夕方16:00に集合
- ・各班に分かれて訪問開始



福祉の会会長(副区長)

※区見守りネットの統括責任者を「福祉委員」と位置付けている。



訪問時に留意することなどを確認

気がかりな一人暮らし高齢者宅へ数名で訪問





「先月、体調をくずしていましたが、もう、すっかり元気になりました。」

「いつも、気にかけてくださりありがとうございます。」と笑顔で応えてくれる住民。

家にいなくても、この時間は畑作業していることを知っており、本人の状況を確認。



お変わりありませんか！！

「福祉の声かけ訪問」です。

まだまだ寒暖の差が激しく体力の維持が大変ですが、
生活のリズムを保ち、健康第一で過ごしましょう。

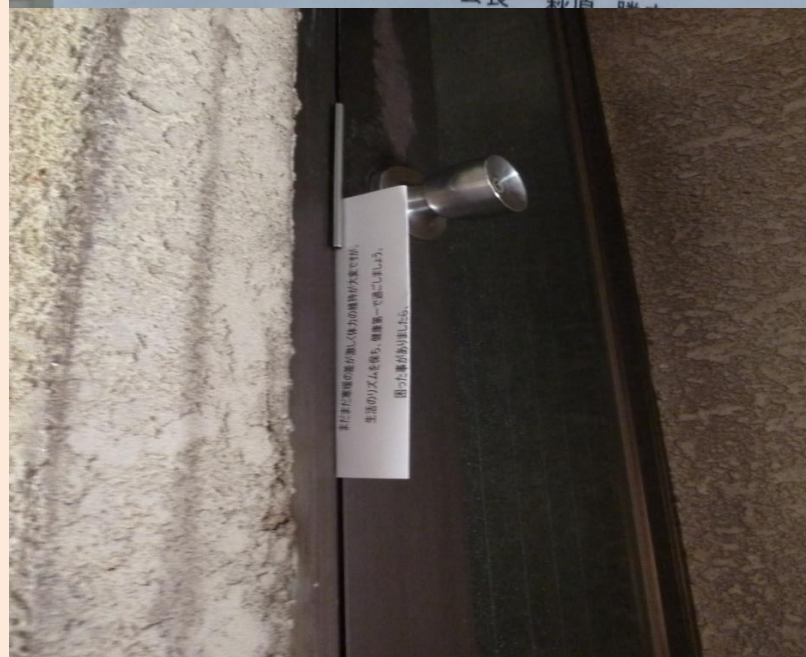
困った事がありましたら、

「福祉の会」か民生委員にご相談ください。

9月29日 杉田5区「福祉の会」

会長 萩原 勝

留守のお宅には、必ず訪問したことを手紙で伝える。そして、「地域みんなで見守っているよ。」ということを伝えている。





見守り活動に区長、町内会長、
民生委員、寄り合い処スタッフ、
福祉のまちづくりサポーター、
住民ボランティア等、地域全体
で見守る体制がかなり進んで
いる。(住民の6割が見守り活動に参加)

「福祉は地域づくり」
見守り活動は、地域
の基盤となる住民どう
しの信頼関係をつくる
大切な活動です。



富士根南地区社協が 目指す方向

1. 小地域福祉ネットワーク活動を全区に推進する。
(富士根南地区16区が自主的に活動展開)
2. 誰もが地区社協活動に参加できる体制づくり。
(出前座談会を全区に計画、福祉のまちづくりサポーター養成、寄り合い処・子育てサロン支援等)
3. 福祉課題は、地域ケア会議で協議し迅速に解決を図る。